

拠点を核とした産業集積及び 周辺環境整備の課題に係る検討会について

1. 趣旨

- 昨年6月、イノベーション・コースト構想推進会議において、各研究・実証拠点の整備について、概要と目標スケジュールを整理。（「イノベーション・コースト構想推進会議の議論の整理」）
- これを受け、昨年9月には檜葉遠隔技術開発センター（モックアップ施設）の研究管理棟の運用が開始。また、平成28年度予算案ではロボットテストフィールド及び共同利用施設（ロボット技術開発等関連）の整備や、地域振興に資する実用化開発等への支援に係る予算を盛り込むなど、拠点の具体化等を推進。
- 一方で、本構想の目標である、浜通りを中心とする地域における自立的な地域経済の復興を実現するためには、整備される各拠点等を十分に活用し、地域での産業集積や、その基盤となる生活環境等の周辺環境整備を図ることで、その効果を地域全体に波及させていくことが必要。
- 以上を踏まえ、本構想の実現に向けた第2段階として、拠点を核とした産業集積や周辺環境整備などの課題について、有識者や地元産業界、関係機関からなる検討会を設置し、専門的見地から検討を行う。

2. 主な検討内容

- 研究機関、大学等を核とした産業集積及び周辺環境整備の先行事例分析（推進体制、行政の取組、これまでの取組の評価、今後の課題 等）
- 各分野（ロボット、農業等）の産業集積に向けた課題及び政策対応
- 拠点を核とした周辺環境の整備に向けた課題及び政策対応

3. 今後の進め方

- 月1回程度開催。春～夏頃を目途に議論のとりまとめを目指す。
- 各委員や地方自治体、産業界等の有識者からのプレゼンテーションも実施しつつ、上記検討内容につき議論。